

4. 聴覚障害編

(2) コミュニケーションの方法・ポイント

耳の不自由な人とのコミュニケーション手段として「手話」「指文字」「口話」「筆談」があります。その他にも、離れた相手とのコミュニケーション手段として、「ファックス」や「メール」「手紙」などがあります。

● 手話

聴覚障害者にとって最も自然なコミュニケーション手段です。

簡単な手話だけでも覚えて会話の始めや終わりに使うと、あとは口話・筆談がメインでも、よりリラックスしたコミュニケーションが可能です。

手話を勉強するには

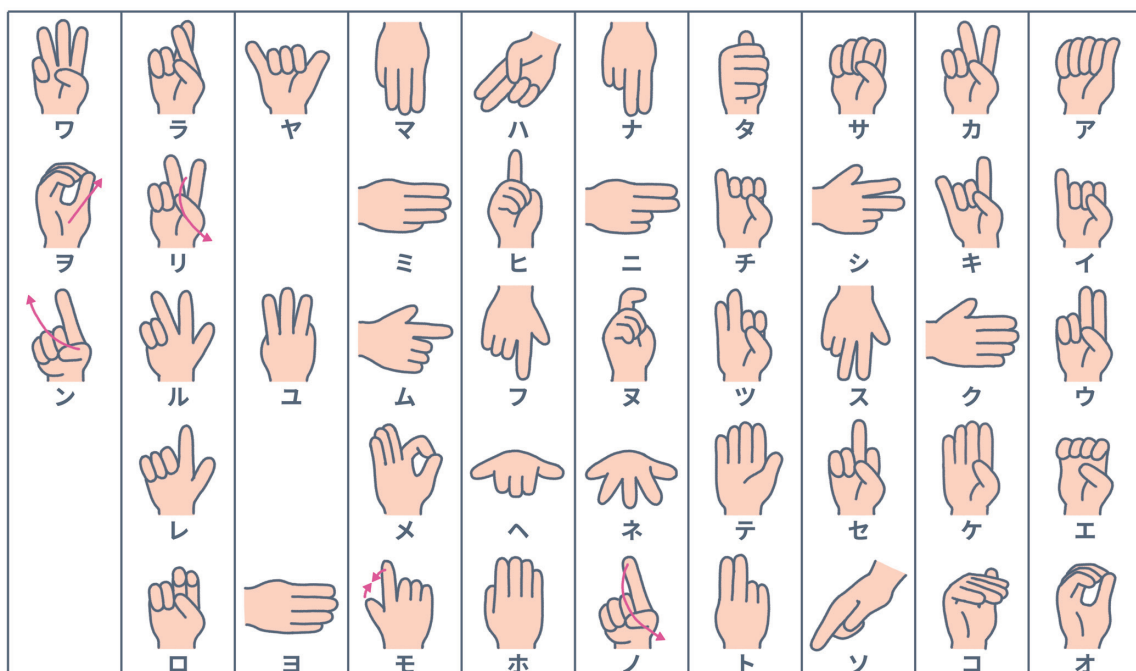
手話サークルに入り、聴覚障害者との交流を持つ。

各地域の自治体や社会福祉協議会などが主催する講習会に参加する。

教材を参考に個人で学習する。

指文字

※この図は見る人の側から書いてあります。



● あいさつしましょう



おはよう

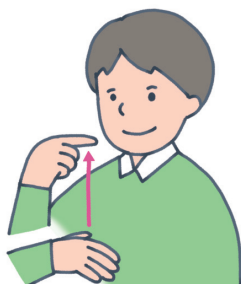


こんにちは

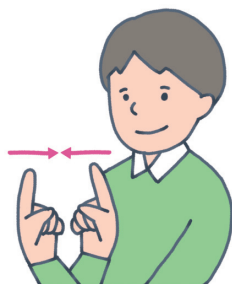


こんばんは

● 初めましてよろしくお願いします



初め



あう



良い



たのむ

● 数字の表し方

数字の表し方①（相手から見た形）



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9